三　保　松　原

みほのまつばら おさんぽマップ

海浜公園周辺エリア
清水三保海浜公園愛護会編

▲海浜公園周辺
音声ガイド



ここ（吹合岬エリア）は、国の名勝、そして、世界文化遺産富士山の構成資産に登録されています。
羽衣の松からは離れていますが、駿河湾越しに大きく見える富士山が自慢です。

三保松原へようこそ！



撮影SPOT

自転車道

真崎まで
徒歩約10分
自転車約3分

水族館跡まで
車で約3分

PULCLE（パルクル）

電動自転車を15分100円でレンタルできるサービスです。アプリ「HELLO CYCLING」をダウンロードし、クレジットカード、PayPay等と紐付けする必要があります。
三保半島では「みほしるべ」「三保桟橋（ウラレナ）」「鐘庵」「東海大折戸キャンパス入口」の4箇所に貸出・返却ポートがあります。

清水三保海浜公園

2017年にオープンした静岡市の公園です。小高い丘から、富士山をバックに清水港を出入りする船を眺めることができます。駐車場や遊歩道、丘へのスロープは舗装されており、車椅子やゆっくり歩く方にも安心してお散歩していただけます。休憩できる四阿や多目的トイレもあります。
公園内には、ボランティアで植えた小さな松が大事に育てられています。花壇での、三保の砂浜の海浜植物の育成も進めています。
また、例年1月にはここで「三保海浜マラソン」が開催されます。



公園内はゆっくり歩く人を優先しよう



ボランティアの活動予定や活動報告はこちら▼

撮影SPOT



P

WC

旧三保飛行場

この付近の広い浜地は、大正時代から飛行機不時着場として使われ、1923年に「根岸飛行場」が開設されました。開設に尽力した飛行士根岸錦蔵は、自ら設計した愛機に「羽衣」「白龍」などと三保にちなんだ名前をつけ、ここを拠点に魚群探査飛行、富士山の高層気象観測飛行を行い、漁業・気象学の発展に大きく貢献しました。



海浜植物

暑く乾燥し塩分の多い海浜特有の植物が見られます。海浜公園内でも育成しています。



清水灯台

1911年に着工し、翌年3月1日に点灯した、日本初の「鉄筋コンクリート造り」の灯台です。
高さ17.73mで、八角形の構造内部は4層に分かれ、鉄製の螺旋階段が巡っています。
灯ろう頂部の天女の風見は、1994年までの最後の灯台守である石井源助氏の御令嬢による考案です。
例年11月に内部が公開されます。

2009年　日本国近代化遺産に認定
2020年　推奨土木遺産に選出
2013年　静岡市地域景観資源に指定
2022年　国の重要文化財に指定
2024年　重文プレート展示台を設置





予科練の碑

第二次世界大戦中の1944年、三保に清水海軍航空隊が開設され、予科練習生が訓練を受けていました。
三保には、高射砲台、掩体壕などの戦争遺跡も残っています。



撮影SPOT

P

三保街道まで
（灯台入口交差点）
徒歩約15分
自転車約5分

◀この地図をカラーで見ることができます

羽衣の松・みほしるべまで
徒歩約30分　自転車約10分